

地域密着型サービス評価の自己評価票（さくらユニット）

（ 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域密着型認知症対応共同生活介護」の意義・目的を踏まえ、施設の運営理念を掲げています。入居者様が地域と自由に交流を持ちその人らしい生活を続けられるよう理念の基本方針に掲げています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の理念の復唱をし、職員間での理念の共有に取り組んでいます。また、職員採用時のオリエンテーションのなかで、理念の主旨を説明しています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホームの入り口掲示板に「運営理念」「運営方針」「重要事項説明書」を掲示し、来訪者の方、家族の方、地域の方にホームの理念を理解していただけるようわかりやすく説明しています。ホームの運営理念や内容を明示したパンフレットを市役所・病院・公共の場に置いていただき、啓発・広報に取り組んでいます。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム周辺に季節の花々や野菜等を利用者様と植え、家庭的な雰囲気の中で、隣近所の人に気軽に立ち寄っていただけるよう挨拶・声かけを行っています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域小学校の運動会・幼稚園の遊戯会等の参加をしています。また、ホームの行事として夏祭り・餅つき・文化祭等を開催し、地域住民との交流を図っています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を通しての地域高齢者の状況の把握、常陸太田市グループホーム協議会会員として講習会の開催、介護教室での講師を務め、高齢者の暮らしに役立つことを職員全員が意識し取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ユニット長会議・全体会議を通じて評価を再確認し、職員全員がより良いサービスを提供できるように改善に取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの活動状況・事故報告・ホームの抱えている問題点等をテーマに話し合い、報告書を作成、対応策等を検討しサービスの向上に努めています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護支援専門員を中心に市町村との関わり、情報の交換をしています。地域小学校・中学校の職場体験実習の受け入れ等を積極的に行いサービスの質の向上に努めています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者・職員は、各種研修に参加し、地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について学び、円滑に対応できるよう努めています。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・職員は、各種研修に参加し、高齢者虐待防止関連法について学んでいます。また、ホーム内で教育委員会を中心とし、身体拘束廃止委員会を設け高齢者虐待についての知識の定着・防止に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には、予め利用契約書・運営規定・重要事項説明書を利用者ご家族様にお渡しし、読んでいただき、再度契約時に説明させていただいています。疑問点などを尋ね、ご理解いただけるよう努力しています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は、日々の生活の中で、ご利用者様一人一人の状態把握に努め、話しやすいよう環境・雰囲気作りに努めています。また、運営推進会議への参加をしていただき、意見・不満等外部者へ伝えられる機会を設け、意見等を運営に反映させています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム通信の「スマイル通信」を月1回作成、家族の方に日頃の生活場面を報告しています。また、行事参加の呼びかけ、病院受診等の連絡・結果報告等を随時行っています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口及び苦情解決責任者を配置しています。また、各ユニット玄関にご意見箱を設置しています。年1回(6月)家族会を実施し、ご家族からの意見・要望を聞き、運営に反映させています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回定期的にミーティングを実施し、職員の意見・提案を聞きユニット長会議で検討・反映させています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ユニット間の勤務調整を行い、全ての職員が入居者様の変化に対応できるよう情報の共有に努めています。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	常にユニット間の交流を図り、職員が入居者様の情報を共有し、馴染みの関係を作り出すことに努めています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	就職後の施設内研修があります。外部研修にも積極的に参加できる機会を設けています。ホーム内では、教育委員会を中心に月1回介護知識・技術の向上を目指し勉強会を開いています。リーダー研修修了した助言者がいます。病院内研修も盛んで、職員勉強会を開いています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	常陸太田市グループホーム協議会に参加し、グループホーム間のネットワーク作りに努めています。夏祭り等ホーム行事の参加を呼びかけ、相互訪問の機会を設け、サービスの質の向上に努めています。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	施設長・管理者が職員と面接を行い、職員個々の不安・不満を聞く機会を設け、働きやすい環境作りに努めています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	部門方針検討シートを活用し、個々の目標を定め、職員各自が向上心を持って働けるよう努めています。(年2回評価実施)	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に実態調査をし(主に介護支援専門員及び管理者)、ご本人様の不安・要望等の聞き取りをし、受け止める努力をしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	最初のホーム来訪時、ご家族から、困っている事・不安・求めていることを聞き、受けとめるよう務めています。また入居前に実態調査を実施し(主に介護支援専門員及び管理者)、ご家族様の不安・要望等の聞き取りをし、受け止める努力をしています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスを含めた支援のできるよう主として施設長・介護支援専門員・管理者が相談に対応し、必要としている支援のできるよう努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の実態調査・生活と安全のカルテ等の活用により、ご本人様が不安なく生活できるよう馴染みの品の持ち込み、趣味などを職員全員が把握し、徐々にホームの雰囲気に馴染めるよう家族と連絡をとり、相談しながらホームでの生活を支援できるよう努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	炊事・洗濯・掃除・裁縫等日々の生活の中で、入居者様と共にできることはさせていただき生活をしています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事参加・お手伝いの呼びかけを主として、他病院の受診付き添い等、できることは参加していただくよう随時連絡をとっています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様と入居者様の関係の理解を深められるように、ご家族様来所時には、職員が積極的にコミュニケーションを図り、入居者様の生活の様子等を伝えています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様からの要望がある場合は、ご家族様に連絡し、承諾を得て馴染みの人、場所に行ける様支援しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士が、円滑なコミュニケーションがとれるように、職員がご利用者様の様子を観察し、支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	自宅復帰した方については居宅介護支援事業所を通して、ホームでの夏祭り等催しのある場合、ご案内をしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の実態調査・生活と安全のカルテ等により、ご入居様の思い・暮らし方の希望、意向の把握に努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の実態調査・生活と安全のカルテ等により、馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めています。また、担当の居宅介護支援事業所と連携を図り、サービス利用の経過等の把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活の中で、入居者様一人一人の状態を観察し、有する力の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のモニタリングを通し、職員と御家族・入居者様と話し合い共に意見を出し合いながら、介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	長期目標・短期目標の達成月を明確にし、日々の記録・モニタリングを通し介護計画の見直しを行っています。入院等の心身状況に急激な変化がおきた場合には、現状に即した介護計画の見直しを行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報を共有し、介護計画に沿った日々の記録を行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人様やご家族の要望に応じ、職員間の情報の共有と共に、臨機応変に対応できる体制をとって支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ご本人様の意向・必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援しています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人様の希望・必要性に応じて、地域のケアマネジャー・サービス事業者と相談し、他のサービスを利用できるよう支援しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ご本人様の意向・必要性に応じて、権利擁護総合的・長期的なケアマネジメント等について、運営推進会議を活用しての相談や随時必要性に応じ協働しています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・ご家族様の希望を優先し、適切な治療をうけられるよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人のプライバシー保持を心がけ、入居者様に尊厳ある生活を送っていただけるよう、職員全員が言葉かけ・対応に配慮しながら入居者様に対応しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望や思いを気軽に話せるように、入居者様に常に声かけをし円滑なコミュニケーションをとっています。職員本意の介護ではなく入居者様の意思に沿った介護に心がけています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合優先の介護ではなく、入居者様一人ひとりのペースに合わせた介護を職員全員で心がけ、利用者様のペースや希望に沿った支援をしています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容・美容は、入居者様の希望する店に行けるよう支援しています。また、ご家族様と外出時に行かれたり、ご家族と行けない方に対しては、ご本人の希望する店に職員が同行しています。外出を好まない入居者様は、訪問美容室の利用をしています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみとなるよう本日のメニューを台所に掲示し、利用者様と職員と一緒に準備や食事、片付けをしています。週2回ほど自由メニューの日とし、ご利用者様の希望に沿ったメニューをご利用者と共に考え、食事が楽しみなものとなるよう支援しています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのお酒、飲み物、おやつ、たばこ等を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者様一人ひとりの希望にあわせ、お酒・たばこ・おやつ等職員と共に外出・購入し、日常的に楽しめるように支援しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	職員が入居者様の排泄パターンを把握し、入居者様の希望状態に合わせて、排泄の誘導をし、おむつの使用はできるだけ減らせるように支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間帯は、基本的に午後3時～5時になっていますが、入居者様の希望にあわせた時間帯に入浴できるよう支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居前の生活習慣を把握することにより、入居者様の状況や希望に合わせて自分のペースで休息したり、睡眠が確保できるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活と安全のカルテやご家族との話により、入居前の生活歴を把握し、入居者様の楽しみごと、興味のあることを把握しホームでの生活が楽しいものと感じるよう支援しています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様一人ひとりの力・希望にあわせ、ご家族と話し合い検討のうえ、お金を所持したり、使えたりできるように支援しています。ご自分での管理が難しい方には、職員が出納帳をつけご家族了承のもと管理させていただいております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物・散歩・ドライブなど一日一回は、ホームの外に出かけられるよう支援しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事や季節の行事等で、普段行けない場所を入居者の希望を聞き、決定しています。その際ご家族様にも連絡し、参加していただけるよう働きかけをしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置し入居者様自ら電話のできる環境を整えています。また携帯電話を使用なさっている方もいらっしゃいます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は設けず、いつでも気軽に訪問できる環境を整えています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営規定・利用契約書に身体拘束ゼロの方針を掲げ、身体拘束廃止委員会を設置し、職員の理解・意識付けを行っています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム入り口は、自動ドアで、日中誰でもが行き来できる環境を整えています。居室では、日中・夜間共ご利用者様の外出時以外鍵をかけないケアをしています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員休憩もご利用者様と共にとり、プライバシーの保護に注意しながら、昼夜問わずご利用者様の所在や様子を把握し、安全に生活できるよう配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品に関しては、ご家族と話し合い、ご入居様一人ひとりの状態にあわせ、居室に置くもの・ホームで管理する物の区別をし、危険防止の取り組みをしています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止マニュアルを整備し、速やかに対応できる取り組みをしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	教育委員会を中心に、看護師の指導のもと、全体会議等を利用し、利用者様の急変・事故発生時に応急手当・初期対応ができるよう訓練を行っています。緊急時マニュアルを作成し速やかに対応できるよう努めています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時に備え、避難訓練を消防指導のもと定期的に行っています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明、理解をしていただき、制限のない生活をもとに対応策を話し合っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを実施し、異常時には、看護師や病院に相談し速やかな対応が可能な状態になっています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報提供書を利用者様の個人ファイルに保管し、薬の目的・副作用・用法・用量についていつでも、全職員が確認できる状態になっています。用量・薬の変更等の際には、服薬後の状態観察を日々の記録に記入しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や影響の勉強会を開き、飲食物の工夫・毎日のラジオ体操や機能訓練を実施しています。便秘症状のひどい方には、病院受診等により、症状の緩和に努めています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きを実施しています。入居者様の状態に合わせて、職員が支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	週5日は、タイヘイの福祉献立メニューを利用し、栄養バランスの確保をしています。入居者様一人ひとりの能力に合わせて水分・食事が摂取できるよう支援しています。お茶等いつでも飲める環境を整えています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策委員会を設置し、予防対策のマニュアルを作成実施しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	給食委員会を設置し、衛生管理を中心に、新鮮・安全な食材の確保と管理に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	業務委員会を中心に、玄関や建物周りの清掃・安全管理を実施しています。玄関周りには、季節の花などを植え、ホームの南側には、畑を作り食物の収穫もできるようになっています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、花・カレンダー・時計・季節にあった飾りつけをし、居心地良く生活できる空間作りをしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やソファを設置し、気に入った場所で思い思いに過ごせる場所作りをしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、ご本人様の使い慣れた好みの品を持ってきていただき、ご自宅と同じ様な空間で居心地良く生活できるような居室を整えています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	利用者様の状態に合わせ、こまめに温度調節をしています。天気の良い日には、窓を開け、換気に努めています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活ができるよう安全面・使いやすさを重視した建物設計になっておりますが、更に利用者様一人ひとりの身体機能が活かされる様に、随時ご本人様にあった設備や配置をするよう工夫しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	毎日の生活の中で、全職員がご利用者様一人ひとりのできる力を活かし、統一した支援をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りには、季節の花などを植え、ホームの南側には、畑を作り食物の収穫もできるようになっています。ベランダには、物干し・家庭菜園のプランター・季節の花等を置き、生活の場として天気の良い日にはお茶を飲みながら、利用者様と共に活用しています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

医療法人を母体とするグループホームであり、病院との速やかな連携が可能です。
入居者様同様ご家族とのコミュニケーションに力をいれ、入居者様と共に安心した生活を送っていただけるよう職員一同日々努力しています。
明るく開放的なホームを目指し、地域の一員として地域に根ざした活動に取り組んでいます。